

## 2. 多剤耐性緑膿菌 (MDRP) 分離株数

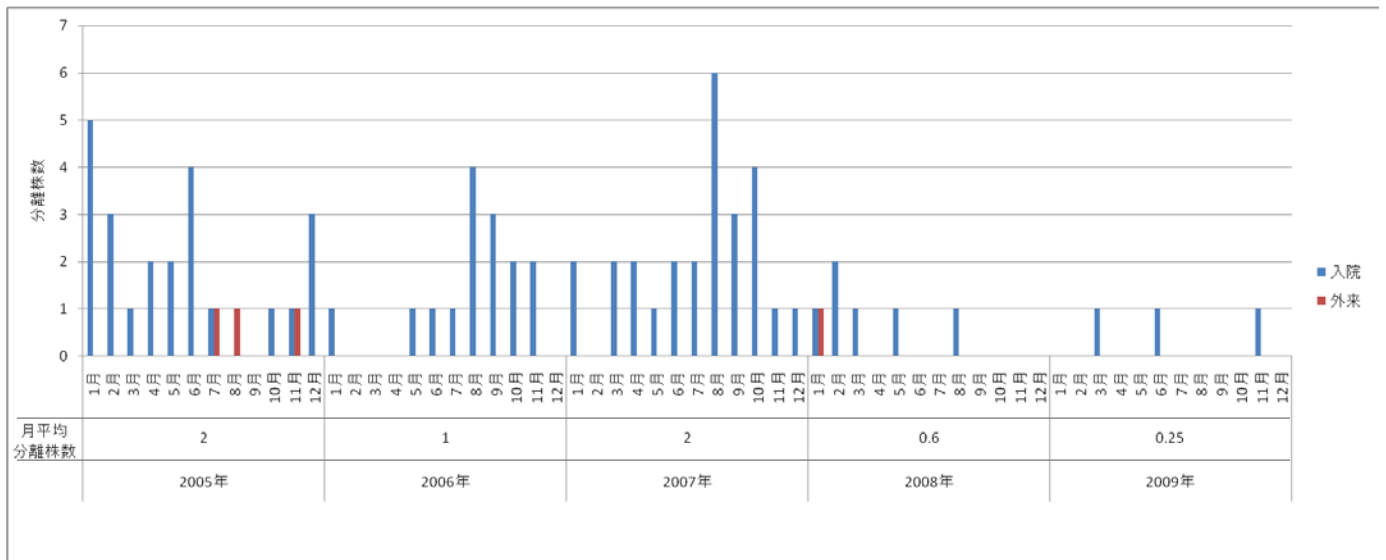


図. MDRP 月別分離株数 (2005 年－2009 年)

図は 2005 年から 2009 年における当検査室の MDRP 月別分離株数 (青：入院、赤：外来) です。

〈特 徴〉

- \* 2005 年から 2007 年までは月平均の分離株数は 2 株以下、2008 年以降の月平均の分離株数は 1 株以下で、ほとんどのケースが保菌例です。
- \* 2007 年 8 月に分離株数の増加を認めましたが、異なる診療科/病棟の散発例が偶然に重なった事例と考えられました。
- \* 2007 年 11 月以降は月別分離株数が 3 株を超えることは無く、2008 年の月平均分離株数は 0.6、2009 年の月平均分離株数は 0.25 と年々減少しています。
- \* 当院の MDRP 分離株数は、国立大学感染対策協議会の報告と比較すると 1,100 床を有する大学病院としては少ない分離株数です。これは院内における抗菌薬の適正使用や標準予防策および接触感染予防策の徹底によると考えられます。